




投 映 内 容	
太陽の位置変化	<p>方位の確認後、お昼ごろ南中時の太陽。(夏は高く、冬は低い) 夕方、西に沈む。(夏は北寄り、冬は南寄り)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★太陽のまとめ 太陽は、朝、東の方から昇り、昼、南の空の高いところを通り、夕方、西の方に沈む。</p> </div>
宇宙体験 月の位置変化 三日月の位置変化 上弦の月の位置変化 (半月) 満月の位置変化	<p>ボールと懐中電灯で月の満ち欠けモデル <small>6年生で学習するが、簡単に触れる</small></p> <p>投映日に最も近い三日月の日からスタートする。 三日月は、夕方、南西の空に見える。太陽の後ろを追いかけるように、すぐに西に沈む。</p> <p>上弦の月は、夕方、南の空高く見える。昼間見える上弦の月は東の空から昇ることを確認する。 時間の経過とともに太陽を追いかけるように西に沈むことを確認する。</p> <p>満月は、夕方、東の空低く見えること、太陽と正反対の位置であることを確認する。そして、時間の経過とともに、満月は、太陽と同じように東の空から昇り、真夜中に南中すること、日の出のところに西に沈むことを確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★月のまとめ 月の形は毎日違って月は、太陽と同じように、時間の経過とともに、東の方から南の空を通り、西の方へ位置が変わる。</p> </div>
月の様子 <small>形、月までの距離、月の画像</small> プラネタリウム番組 季節の星座 宇宙の話題 方位の確認 星の位置変化	<p>月は球形、クレーターがある、月の海がいろいろな形に見える <small>探査機「かぐや」や「アポロ」などが撮影した画像</small></p> <p>「月をつかまえた子ども」 <small>夏に来館しない学校は「はくちょう座物語」(位置変化の後)</small></p> <p>投映日の宵の星空 夏の星座(夏の大三角を中心に)、秋の星座やそのときに見える惑星の解説。 <small>すばる望遠鏡やハッブル宇宙望遠鏡の画像などを見ながら、最近の宇宙の話題を伝える。</small></p> <p>夏の大三角、北斗七星またはカシオペヤ座から北極星を探し、方位磁石がなくても方位を確認できることを知る。</p> <p>夏の大三角はくちょう座の時間による位置の変化を確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★星のまとめ 星の位置は時間とともに東の方から南の空を通り、西の方へ位置が変わる。 星の並び(星座の形)は変化しない。</p> </div>
日の出	朝、東から昇る。(秋分の日以降は南寄り)
質問コーナー	<small>写真提供 月：平野岳史 はくちょう座：PAONET 津村光則</small>